

## ひみ Hinet

### 設定マニュアル Windows 版 (XP 以外)

#### 第1章 ひみ Hinet に必要な機材

1. 拡張スロットの空きを調べよう
2. LAN アダプタの選定のポイント
3. 10BASE-T ツイストペアケーブル(ストレート)の選定のポイント
4. LAN アダプタの装着とケーブル配線

#### 第2章 ネットワークプログラム

##### TCP/IP の追加、及び設定

#### 第3章 インターネット接続ブラウザの設定

1. Windows98「インターネット接続ウィザード」での設定方法
2. Internet Explorer5.5 での設定方法
3. Outlook Express での設定方法(新規メールの設定)

**※ 当社から発行いたします加入受付書及び契約  
約款は大切に保管して下さい。  
加入受付書の再発行は有料になります**

#### 第1章 ひみ Hinet に必要な機材

ひみ Hinet LAN 型 IP アサイン接続サービスは CSMA/CD 方式の Ethernet LAN と類似方式の為、接続するパソコンには LAN 環境で接続するための機材が必要になります。

お客様の方でご用意いただくもの

- **パソコン** : DOS/V 機、PC-98
- **10BASE-T ツイストペアケーブル** : ケーブルモデムと PC の間をつなぐケーブルです。
- **TCP/IP** : インターネット接続のための通信手段ソフトウェア。  
\*windows95、Macintosh (漢字 talk7.5.3) 以上に標準添付。
- **LAN アダプタ** : LAN カード、LAN アダプタ、イーサーカードとも呼ばれます。  
本書ではこれら全てを LAN アダプタと言います。LAN アダプタについては、内蔵されているタイプのパソコンもあります。お客様のパソコンの取り扱い説明書を参考に、販売店などをご確認の上、ご購入ください。  
中にはすでに LAN アダプタが内蔵されているパソコンもございます。

能越ケーブルネットが設置するもの (NET 標準工事費に込み)

- **通信用ケーブル配線** (保安器よりケーブルモデムまで)
- **ケーブルモデム** (能越ケーブルネットよりお貸しします。リース代金は利用料に含まれています。  
解約された場合、当社へ返却して下さい。また、破損、紛失の場合はお客様のご負担とさせていただきます。)

##### \*パソコン推奨環境\*

	Windows マシン	Macintosh マシン
OS	Windows 9 8 以上	Mac OS 8 以上
CPU	Pentium/Celeron/AMDK 6 II 以上	POWER PC プロセッサ
メモリ	3 2 MB 以上	
ハードディスク	空き容量 100MB 以上	
ブラウザ	Internet Explorer4.0 以上、 Netscape Navigator4.5 以上 のものをお使いください。	
その他	1 0BASE-T LAN アダプタが装着可能または内蔵されていること。	

## 1. 拡張スロットの空きを調べよう

LAN アダプタなどの周辺機器カードは、パソコンの拡張スロットに装着します。(ノートパソコンでは PC カードに装着するので、比較的簡単です。) そこで初めに、お手持ちのパソコンに拡張スロットの空きがあるかどうか確認する必要があります。デスクトップ機の拡張スロットは、パソコン内部ではローカルバスにつながっています。問題なのはローカルバスです。ローカルバスには ISA、PCI、C の 3 種類があり、それぞれインターフェースが違います。PC/AT 互換機の場合は、ISA バスと PCI バス、PC-98 の場合は C バスと PCI バスです。C バスと言うのは ISA バスに相当する PC-98 独自のバスです。(C バスのスロットは、汎用拡張スロットという名前がついています。) 拡張スロットに装着される LAN アダプタは、上記のバスのインターフェースに合わせ作られています。従って LAN アダプタを選ぶ場合は、ISA、PCI、C バス対応という 3 つの選択肢があることとなります。PCI バス対応の LAN アダプタの場合は PC/AT 互換機でも PC-98 でも使えるものがあります。ISA バス対応の LAN アダプタの場合は PC/AT 互換機のみ使用可。C バス対応の場合は PC-98 のみ使用できます。

ローカルバスの種類とインターフェースの対応

	PCI バス	ISA バス	C バス
PC/AT 互換機	○	○	×
PC-98	○	×	○

PCI バスというのは 32 ビット幅のバス規格で、16 ビット幅規格の ISA バス、C バスよりもずっと高速です。そして、100Mbps の高速ネットワークカードにも対応しています。ただ、ISA バスや C バス対応アダプタと比べると少し高めです。

ここで問題となるには、どの拡張スロットが空いているかです。マルチメディア PC の低価格版などに見られるのですが、これらのパソコンでは ISA バス対応アダプタを装着するスロットが、ビデオキャプチャーなどで最初から占有されています。これだと、新たに ISA バス対応アダプタを装着することはできません。PCI バスのスロットに空きがあれば、そこに新しいアダプタを装着することはできます。ISA バスや C バスでいいとは思っても、この場合は PCI バス対応アダプタを選んでください。

## 2. LAN アダプタの選定のポイント

LAN アダプタには多種多様なものがあります。パソコンショップ等でお客様のパソコンの機種に合ったものをご購入ください。そこでまず、LAN アダプタを選ぶ際にまずチェックすべきは Windows 95、98、2000、Me (以下 Windows) 対応であるかどうかです。それとプラグ&プレイ対応であるかどうか。プラグ&プレイとは、その LAN アダプタを Windows が正しく認識し正常に動くよう自動設定する機能です。LAN アダプタのようなインターフェースを制御するプログラムをドライバーソフトと言いますが、Windows にはメーカー各社のドライバーソフトが標準で添付されています。ただし中には、ドライバーソフトの開発の手間を省いているメーカーもあります。その場合には Windows に標準添付の NE2000 互換というフリーソフトを使います。こうしたアダプタには NE2000 互換とうたっているのが普通で、価格も安めです。プラグ&プレイに対応していれば、こうしたアダプタを選ぶのも良いでしょう。LAN アダプタはネットワークに接続する全てのパソコン全部に必要なものです。予算をなるべく切り詰めたのであれば、低価格なアダプタを選択するのも致し方ないところですが、できれば、プラグ&プレイ対応アダプタを選んだほうが無難です。低価格なアダプタはプラグ&プレイに対応していないことが多く、アダプタの導入が Windows 上では行えないものがあります。マニュアルの不備といったこともありえます。

### ① デスクトップパソコンの場合

LAN アダプタとパソコン本体のローカルバスとの関係については前述しました。ひみ Hinet LAN 型 IP アサイン接続ならば、10Mbps 程度のデータ転送速度で十分ですか、ここでは PCI バス対応アダプタを推奨します。(PCI バス対応にせざるを得ない場合もあることは記述しました。PCI バスの方が安定していると一般には言われています。)

LAN アダプタでもう 1 つチェックしなければならないのは、ケーブルへの対応です。ケーブルモデムへのインターフェースは 10BASE-T なので、10BASE-T 対応ポートのついたアダプタを選びます。

	対応バス	インターフェース
推奨アダプタ	PCI バス	10BASE-T

### ② ノートパソコンの場合

ノートパソコンにおいて、デスクトップ機の拡張スロットに相当するのは PC カードスロットです。ノートパソコン用の LAN アダプタはここに差し込みます。ノートパソコンの PC カードスロットの場合は、デスクトップ機では問題となるバスやソケット形状などのインターフェースは PCMCIA で統一されています。このため、PC/AT 互換機でも PC-98 でも同じ LAN アダプタが使えます。PCMCIA では、ノートパソコン用 PC カードの厚さについても次のように規格を定めています。

TYPE I : 厚さ 3.3mm。フラッシュメモリーカードなど。

TYPE II : 厚さ 5.0mm。LAN アダプタなど。

TYPE III : 厚さ 10.0mm。ハードディスクなど。

LAN アダプタにつなぐケーブルは 10BASE-T ですから、結局ノートパソコン用の PCMCIA TYPE II 10BASE-T と明記されているものを選ぶべきこととなります。

### 3. 10BASE-T ツイストペアケーブル(ストレート)の選定のポイント

10BASE-T ツイストペアケーブルは、デスクトップ機用の LAN アダプタにも、ノートパソコン用の LAN アダプタにも同じものが使えます。ノートパソコン用の LAN アダプタの場合、10BASE-T ケーブルのコネクタに合わせたコネクタ変換ケーブルが標準でついてきます。ここで問題なのは長さです。ケーブルモデムからの長さが 100m 以下という枠内で、パソコンの配置状況を考えながら、手ごろな長さを選びましょう。

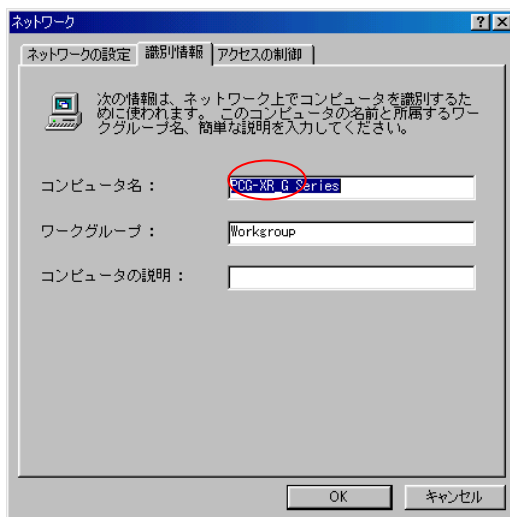
### 4. LAN アダプタの装着とケーブル配線

LAN アダプタの装着は付属の装着設定マニュアルを参照してください。設定の際、I/O ポートアドレス、IRQ (割り込みチャンネル) の競合に注意してください。LAN アダプタの装着、設定が終了したら 10BASE-T ケーブルを LAN アダプタとケーブルモデムに接続してパソコンを立ち上げてください。

(注) ①Windows 95、98 の起動時に次のようなメッセージが表示されることがあります。

ネットワークが動作していないまたはネットワークカードが正しくセットアップされていない  
この場合 LAN アダプタが正しくセットアップされていないか、他のハードウェアと競合している恐れがあります。デバイスマネージャー等で確認し再度やり直してください。

② ドライバソフトのインストールが終わった後、ネットワークユーザー情報の登録画面が表示される場合がありますが、そのまま [OK] ボタンをクリックして下さい。



③Windows の起動時に、パスワードを入力する画面が表示された場合は、入力する必要はありませんので、キーボードの [Esc] を押してください。

## FAQ (よくある質問)

Q、割り当てられる IP アドレスはグローバルですか？プライベートですか？

A、グローバルアドレスです。

Q、いくつのグローバル IP アドレスが割り当てられますか？

A、ケーブルモデム 1 台に 1 つのグローバル IP アドレスが割り当てられます。

Q、グローバルアドレスは、固定ですか？

A、固定ではありません。DHCP サーバーより動的に割り当てます。

Q、メールソフトの設定の「サーバーでのメール保存」はできますか？

A、初期メール保存容量はホームページと併せても 5MB (無料部分) です。限られた容量なので、常にサーバーに残す設定はやめて、ダウンロードするようにしましょう。

Q、ケーブルモデムはどんな場所に置けばいいですか？

A、風通しの良い場所に設置して下さい。またケーブルモデムの上に物を置かないで下さい。

Q、ハブ・ルータなど取付けて、複数台のパソコンへ接続できますか？

A、原則禁止となっております。ハブ・ルーターなどの機器を使用しての通信の不具合につきましてはサポートできません。

Q、ケーブルモデムにドライバは必要ですか？

A、必要ありません。

Q、ケーブルモデムの電源は切っても構わないですか？

A、電源スイッチはございません。カミナリが近づいたときは電源をきることをお勧めします。

Q、ネットワーク対応のゲームソフトは動作いたしますか？

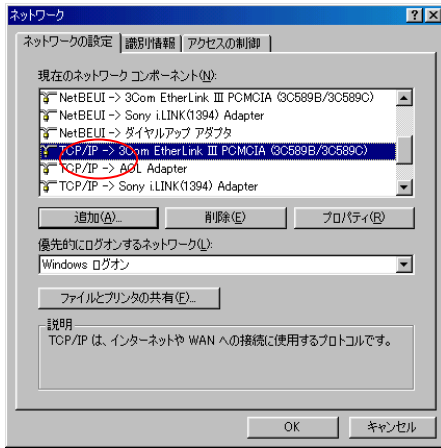
A、弊社においてはネットワークゲームの動作確認は行っておりませんので保証いたしかねます。



## 第2章 ネットワークプログラム

## TCP/IPの追加、及び設定

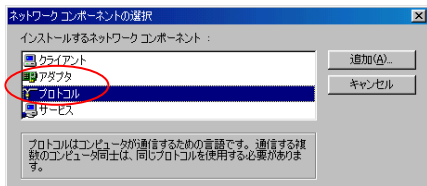
LANに必要なハードウェア的な環境が整えば、次はソフトウェア的な環境作りです。ここではノートパソコン用のLANアダプタとして3comのEtherlink III PCMCIAを使用しました。



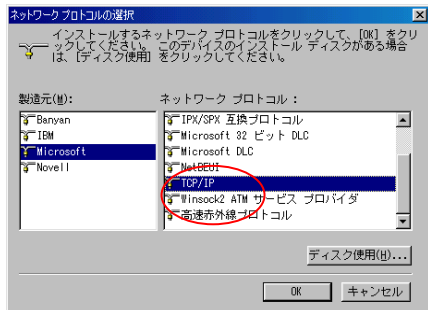
マイコンピュータアイコンを開いて、[コントロールパネル]から[ネットワーク]を開いてください。現在のネットワーク構成が表示されます。現在のネットワークコンポーネントの中にTCP/IP->取り付けたLANアダプタ名の有無を確認してください。有る場合は2. ネットワーク画面より不要なプログラムを削除へ進んでください。

## 1. TCP/IPの追加

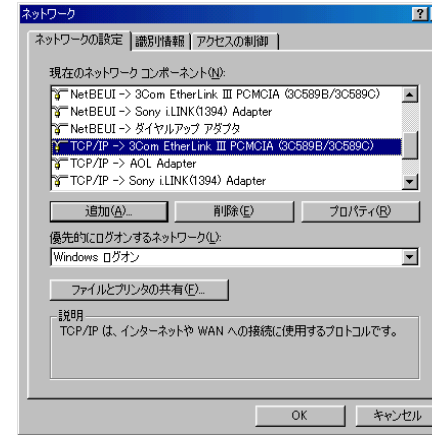
インターネットにアクセスするためには、TCP/IPが必要です。現在のネットワークコンポーネントの中にTCP/IPがない場合は、



① [追加]ボタンをクリックします。すると、ネットワーク構成ファイルの追加の画面に変わりますから、そこで、[プロトコル]をクリックし[追加]ボタンをクリックします。



② ネットワークプロトコルの選択画面に変わりますから、製造元をMicrosoft、ネットワークプロトコルをTCP/IPを選択して[OK]ボタンをクリックして下さい。



③ ネットワーク構成画面に戻りますから、TCP/IP->取り付けたLANアダプタ名が表示されているか確認してください。確認できたら[OK]ボタンをクリックし、パソコンを再起動したら、2. の手順を踏んで3. へ進んでください。

2. ネットワーク画面より不要なプログラムを削除します。

「Microsoft ネットワーククライアント」「NetWare ネットワーククライアント」「ISP/SPX 互換プロトコル」「NetBEUI」は不要なので、それぞれクリックし[削除]ボタンをクリックします。\*不要なネットワークプロトコルを削除することによって、ネットワーク処理の負担が軽減されるので全体のパフォーマンスが上がります。

3. TCP/IPの設定

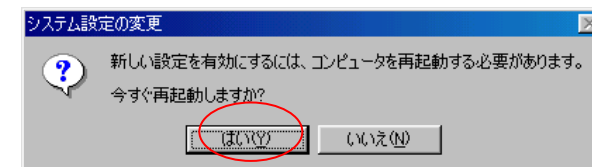
LANアダプタのTCP/IPをクリックし、[プロパティ]をクリックします。

TCP/IPのプロパティ画面が表示されます。

- ① IPアドレスのタブを選択して[IPアドレスを自動的に取得]にチェックする。
- ② WINSの設定のタブを選択しWINSの解決しないにチェックする。
- ③ ゲートウェイのタブを選択し項目は全て未入力にする
- ④ DNSのタブを選択し、設定はDNSを使わないにチェックする。
- ⑤ [OK]ボタンをクリックする。

ネットワーク画面に戻るので再度、[OK]ボタンをクリックする。

4. 以下のような画面が表示されます。以上で設定は終了です。[はい]をクリックし、再起動します。



## 第3章 インターネット接続ブラウザの設定

インターネット接続ブラウザには代表的なものとして「Internet Explorer」と「Netscape Navigator」がありますが、本書では「Internet Explorer5.5」について説明します。

Internet Explorer のバージョンの違いにより設定方法は異なりますが、基本的には同様の項目に対しての設定ですのでご注意ください。ただし、Windows のOSの違いにより「インターネット接続ウィザード」の内容が異なります。

本書では、Windows 98での「インターネット接続ウィザード」の設定方法と、ウィザードを使わずInternet Explorer5.5 から設定する方法とOutlook Expressからの方法について説明します。

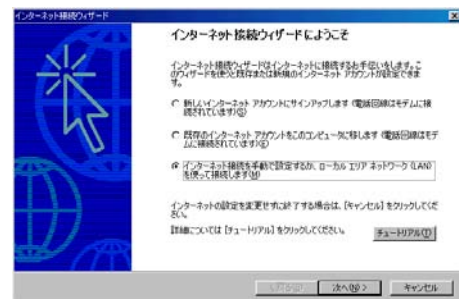
1. Windows 98 「インターネット接続ウィザード」での設定方法
2. Internet Explorer5.5での設定方法
3. Outlook Express での設定方法 (新規メールの設定)

※ 加入受付書が届いてない場合は、2の設定を行なってください。メールの使用は加入受付書が届いて、3の設定を行なってからとなります。加入受付書が既に届いている場合は1の設定からでも設定可能です。

### 1. Windows98「インターネット接続ウィザード」での設定方法



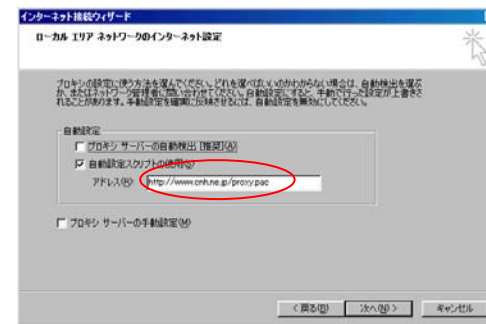
① インターネット接続ウィザードを起動するには、タスクバーの[スタート]から[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[インターネット接続ウィザード]をクリックします。



② インターネット接続ウィザードが立ち上がります。3番目の[インターネット接続を手動で接続するか、ローカルエリアネットワーク]を選択し、[次へ]をクリックします



③ インターネット接続の設定画面が開いたら、2番目の[ローカルエリアネットワークを使って...]を選択し、[次へ]のボタンをクリックします



④ ローカルエリアネットワークのインターネット設定画面が表示されます。自動設定のプロキシサーバーの自動検出がチェックされている場合は、チェックをはずして下さい。自動設定スクリプトの使用の項目をチェックして、アドレスには <http://www.cnh.ne.jp/proxy.pac> と入力してください。

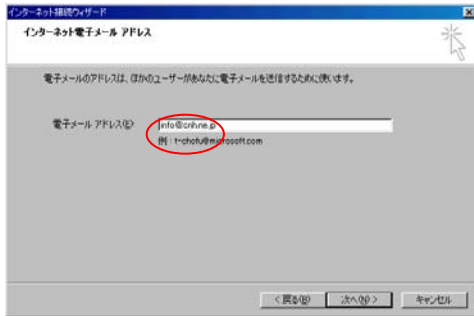


⑤ インターネットメールアカウントの設定画面になります。インターネットメールアカウントを設定しますか?の間に対しては、[はい]をチェックし、[次へ]のボタンをクリックします。

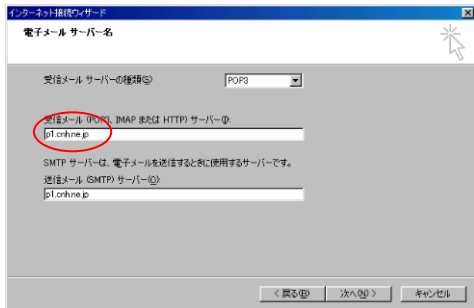


⑥ 名前の画面になります。電子メールを送信するとき、ここで入力した名前が[送信者]のフィールドに表示されます。表示したい名前を入力します。それから、[次へ]をクリックします。

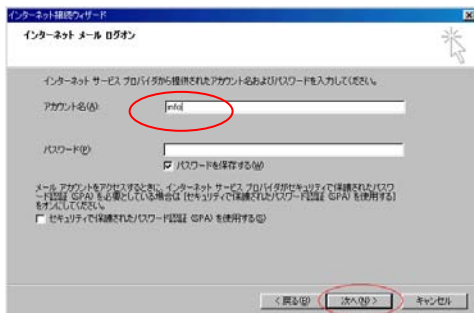
※ブラウザをバージョンアップした際にもこの画面が立ち上がりますが、ひみHinetの設定が完了している場合は、[キャンセル]をクリックします。ウィザードが終了しますので、ブラウザにて動作を確認して下さい。



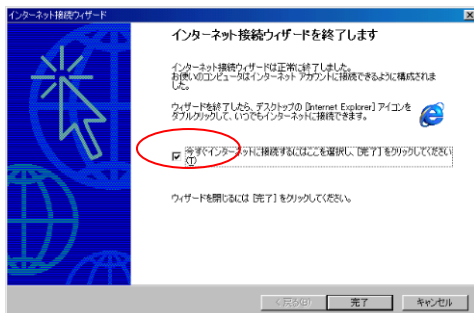
⑦ インターネット電子メールアドレスの画面になります。ひみHinet 加入受付書に記載されている、E メールアドレスを入力して下さい。入力後、[次へ]ボタンをクリックします。



⑧ 電子メールサーバー名の画面になります。受信メールサーバーの種類に[POP3]を選択し、受信メールサーバーと送信メールサーバーの欄にメールサーバー名[p1.cnh.ne.jp]と入力して下さい。入力後、[次へ]ボタンをクリックします。

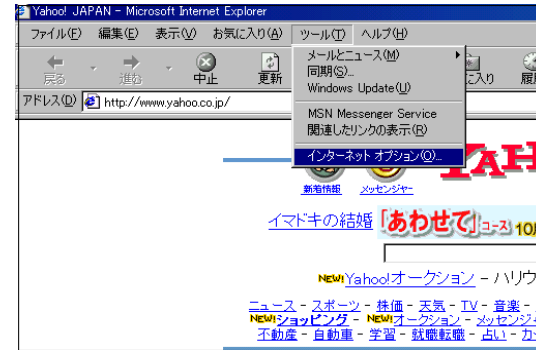


⑨ インターネットメールログオンの画面になります。アカウント名にはひみHinet 加入受付書に記載されているメールアカウント名を記入し、メールパスワードをパスワード欄に記入してください。入力後、[次へ]ボタンをクリックします。

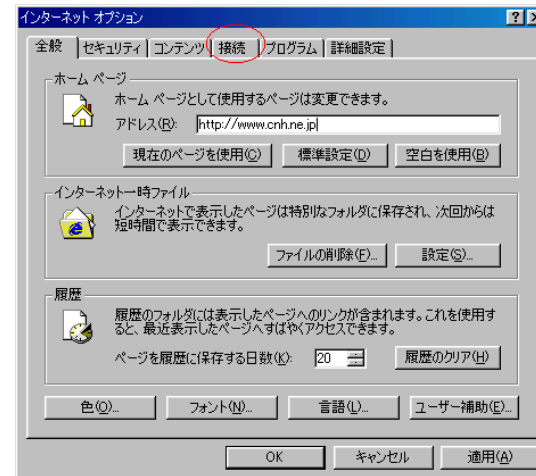


⑩ 接続ウィザードの設定は終了です。[完了]をクリックして下さい。

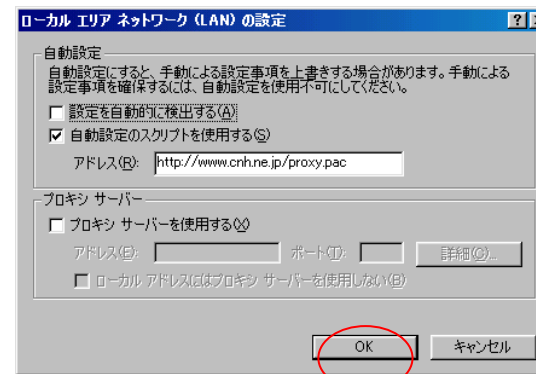
## 2. Internet Explorer5.5 での設定方法



① はじめにインターネットエクスプローラーを起動します。[ツール]から[インターネット オプション]を選択します。



② ホームページのアドレスに [http://www.cnh.ne.jp] と入力します。そしたら、接続タブをクリックして下さい。次に、ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定の [LAN] の設定ボタンをクリックします。

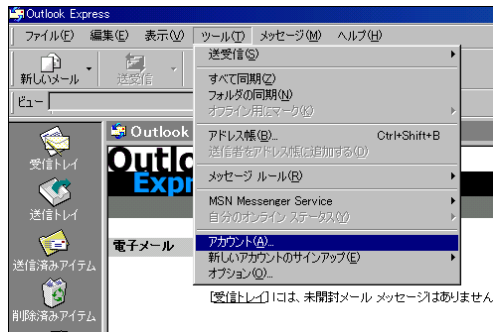


③ ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定の画面がでます。自動設定のスク립トを使用するだけにチェックをして、アドレスに http://www.cnh.ne.jp/proxy.pac と入力して下さい。入力したら [OK] ボタンをクリックして下さい。

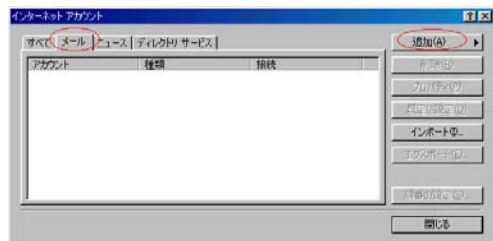
以上で設定は終了です。 Internet Explorer5.5 が正しく動作していることを確認してください。

### 3. Outlook Express での設定方法(新規メールの設定)

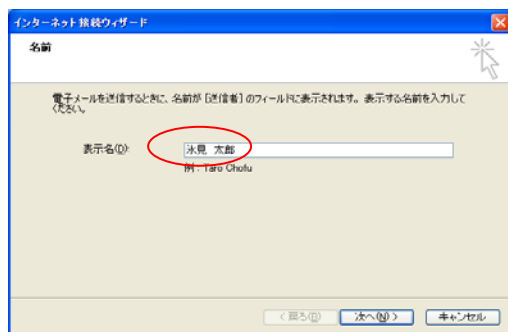
新規メールの設定 はじめに、Outlook Express を起動します。



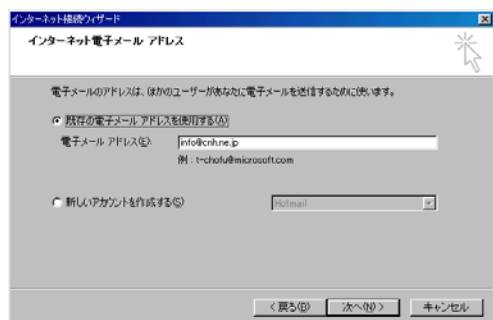
① [ツール]より[アカウント]を選択します。



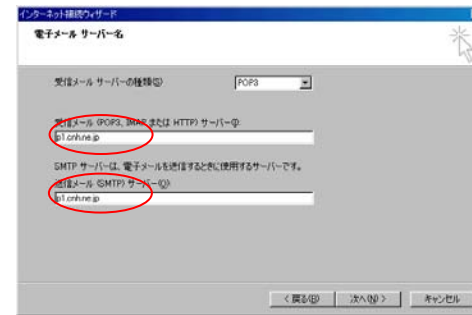
② インターネットアカウントの画面が表示されたら、[メール]タブをクリックして、[追加]ボタンをクリックして「メール」の項目をチェックします。



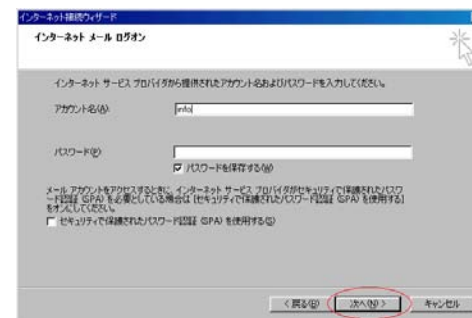
③ 名前の画面になります。電子メールを送信するときに、ここで入力した名前が[送信者]のフィールドに表示されます。表示したい名前を入力したら、[次へ]ボタンをクリックします。



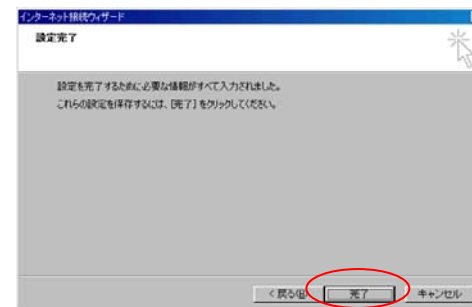
④ インターネット電子アドレスの画面になります。ひみ Hinet 加入受付書に記載されている、電子メールアドレスを入力して下さい。入力後、[次へ]ボタンをクリックします。



⑤ 電子メールサーバー名の画面になります。受信メールサーバーの種類に[POP3]を選択し、受信メールサーバーと送信メールサーバーの欄に[p1.cnh.ne.jp]と入力して下さい。入力後、[次へ]ボタンをクリックします。



⑥ インターネットメールログオンの画面になります。アカウント名にはひみ Hinet 加入受付書に記載されているメールアカウント名を記入し、メールパスワードをパスワード欄に記入してください。入力後、[次へ]ボタンをクリックします



⑦ 以上で接続ウィザードの設定は終了です。[完了]をクリックして下さい。



⑧ アカウントに名[p1.cnh.ne.jp]があることを確認して、[閉じる]をクリックします。

以上で終了です。

Outlook Express が正しく動作していることを確認してください。

## お客様と当社（以下CNH）の責任分界点に関する説明

CNHは、お客様のパソコンを当社回線に接続する為のモデム（ケーブルモデム）をお客様宅内のご指定の場所に1台設置いたします。お客様と当社の責任分界点は、ケーブルモデムの出力端子で、インターフェースは10BASE-Tです。  
なお、接続できるパソコンは1台となっております。

## パソコンの複数台接続について

ハブ、ルーターなどのネットワーク機器の使用は禁止させていただきます。ネットワーク機器を使用してのパソコンの複数台接続での通信の不具合につきましては一切の責任を負いません。

## LANケーブルについて

LANケーブルはストレートタイプとクロスタイプの2種類がございます。  
ひみHinetではカテゴリ5以上のストレートタイプのものを使用いたします。

## メールソフト、ブラウザソフトについて

出来るだけ新しいバージョンのものをご使用ください。  
ブラウザはInternet Explorer 5以上のご使用をお薦めいたします。

## ひみHinetのセキュリティについて

不正アクセス対策に関する説明

- 当社外部からの不正アクセスは当社サーバーで排除します。
- CATVインターネットでは、加入者全員がLANで接続されていますので、他の加入者から不正アクセスされる恐れがあります。当社加入者同士の不正アクセスは、当社で防止する方法がありません。フォルダの共有設定はしない等、お客様の方で必要な対策をお取りください。

## どうしても設定がうまくいかない場合（サポートについて）

当社ではパソコン設定の出張サービスは行なっておりません。どうしても自信がないといった方は**有料**にてパソコンをセッティングいたします。  
ひみHinetのパソコン設定サービスをご利用ください。別紙参照。

## FAQ（よくある質問2）

Q、E-MAILは転送できますか？

A、はいできます。当社ホームページのオンラインマニュアルを参照して下さい。

Q、ホームページを持つことが出来ますか？

A、はいできます。当社ホームページのオンラインマニュアルを参照して下さい。

Q、メールアドレスはいくつまで持つことが出来ますか？

A、無料付与分を含め最大で5つまで持つことが出来ます。（追加は4つまで）

Q、初期メール保存容量（ホームページ容量20MBとは別）10MBを超えた場合は？

A、1MBごとに500円（税別）を課金させていただきます。

Q、初期メール保存容量（ホームページ容量20MBとは別）10MB以上使用する場合、別途申込が必要ですか？

A、お申込頂く必要ありません。10MBを超えた場合、1MBにつき500円（税別）を課金させていただきます。

Q、出張先でメールチェックをしたいのですが？

A、オプションサービスにダイヤルアップサービスがあります。有料サービスになります。

Q、ケーブルモデムに接続したパソコンをサーバーとして使用できますか？

A、出来ません。重大な規約違反がある場合、利用料を返金しないほか、撤去費用、損害賠償を求める場合もあります。

その他、ひみHinetのホームページのオンラインマニュアルを参照してください。



### インフォメーションメール（無料）について

メンテナンス情報等を、ひみHinetからE-MAILでお知らせいたします。お申込はひみHinetのホームページからお願いいたします。なお、インフォメーションメールサービスは無料です。今すぐ登録をお願いします。

**注** 当社から発行いたします加入受付書及び契約約款は大切に保管してください。加入受付書の再発行は有料になります。